

南山大学外国語学部アジア学科主催、アジア・太平洋研究センター、
科研C「植民地末期インドネシア・ムスリムの国際関係認識」、
東南アジア学会中部例会共催セミナー

2019年3月17日（日）13:00～18:00

第1セッション：「国民国家」をめぐる思索

発表 小林寧子（南山大学教授）
山口元樹（東洋文庫研究員）
姫本由美子（立教大学アジア地域研究所特任研究員）

特別講演

“Local, national and transnational Islam in Indonesian history”

Martin van Bruinessen（ユトレヒト大学名誉教授）

2019年3月18日（月）9:00～17:00

第2セッション：独立後国家建設の混乱

発表 加藤 剛（京都大学名誉教授）
奥島美夏（天理大学准教授）
倉沢愛子（慶應義塾大学名誉教授）

第3セッション：インドネシア華人史の再構築

発表 工藤裕子（東洋文庫研究員）
津田浩司（東京大学准教授）
松村智雄（法政大学講師）

討論 青山 亨（東京外国語大学教授）
岡本正明（京都大学教授）
貞好康志（神戸大学教授）

「国民国家」インドネシア再考

会場：南山大学 Q棟5階51, 52会議室

問合せ先：南山大学アジア学科合同研究室
〒466-8673名古屋市昭和区山里町18番地
Phone: 052-832-3111(代表)
E-mail: dpt-ajia@nanzan-u.ac.jp

講演会のwebサイトに
アクセスできます→

